

# 株式会社メディア工房 (Media Kobo, Inc.)

平成30年8月期（第21期）  
中間決算説明会

# 総括

## 売上高減少となるも営業利益増加

- ・引き続きOne to One Marketing事業が好調
- ・前期事業整理によりゲーム事業が黒字化

## 各事業における先行投資の増加

- ・ AI・VR事業への投資、下期以降は結実予定
- ・ メディア事業の本格化
- ・ 中国上海子会社の設立に伴う創業赤字計上

## 現状の課題

- ・ 既存の配信先や方法に依拠しない体制づくりが急務
- ・ 中国上海子会社の黒字化

# 財政狀況

# 連結貸借対照表 資産の部

(百万円)	第20期	第21期 2Q	増減額	増減率(%)
流動資産合計	2,704	2,183	▲521	▲19.3
有形固定資産	22	27	5	25.1
無形固定資産	161	179	17	10.5
投資その他の資産	289	287	▲2	▲0.8
固定資産合計	473	494	20	4.3
資産合計	3,178	2,677	▲501	▲15.8

# 連結貸借対照表 負債・純資産の部

(百万円)	第20期	第21期 2Q	増減額	増減率(%)
流動負債	901	738	▲163	▲18.1
固定負債	787	549	▲237	▲30.2
負債合計	1,688	1,287	▲400	▲23.7
純資産合計	1,490	1,390	▲100	▲6.7
負債純資産合計	3,178	2,677	▲501	▲15.8

# 特記事項

## 現金及び預金の減少

- ・ 広告宣伝費52百万円の増加
- ・ 自己株式102百万円（20万株）の取得（現在9.7%を保有）
  - ▶ 株主還元・事業活動の円滑性向上等を目的として
- ・ 借入金の返済366百万円（1年内返済予定との合計）
  - ▶ 上海子会社設立に伴う費用の支出

## 安定的な資本バランス

- ・ 現金預金対借入金比率 164.0%
- ・ 自己資本比率 51.4%（前期末：46.5%）
- ・ 流動比率 295.8%（前期末：300.2%）
  - ▶ 下半期は新規案件への開発費として借入増を予定

# 經營成績

# 連結損益計算書

(百万円)	第20期 2Q	第21期 2Q	増減額	増減率(%)
売上	1,127	1,079	▲47	▲4
売上総利益	468	572	103	22
営業利益	3	16	13	394
経常利益	0	17	17	—
特別利益	103	0	▲103	▲100
特別損失	5	0	▲5	▲100
税引前当期純利益	98	17	▲80	▲82
親会社株主に帰属する当期純利益	61	3	▲58	▲95



# 特記事項

## 売上高の減少

- ・ 第21期より子会社売上高を**手数料控除後の額**で計上  
( LEWIS FACTORY )

## 営業利益の増加

- ・ One to one Marketing事業の好調。**緩やかな右肩上がり**を継続
- ・ 前期事業整理により利益圧迫の一因が解消

## 税引後純利益への影響

- ・ 設立年度であるメディア工房上海が**赤字**
- ・ 単体申告のため税金が税引前利益の額に対して大きく見える

# 各事業の業績

# セグメント別状況

(百万円)

第20期 2Q	占い コンテンツ	ゲーム コンテンツ	その他	調整額	合計
売上	870	255	1	-	1,127
営業利益	271	▲50	▲15	▲201	3

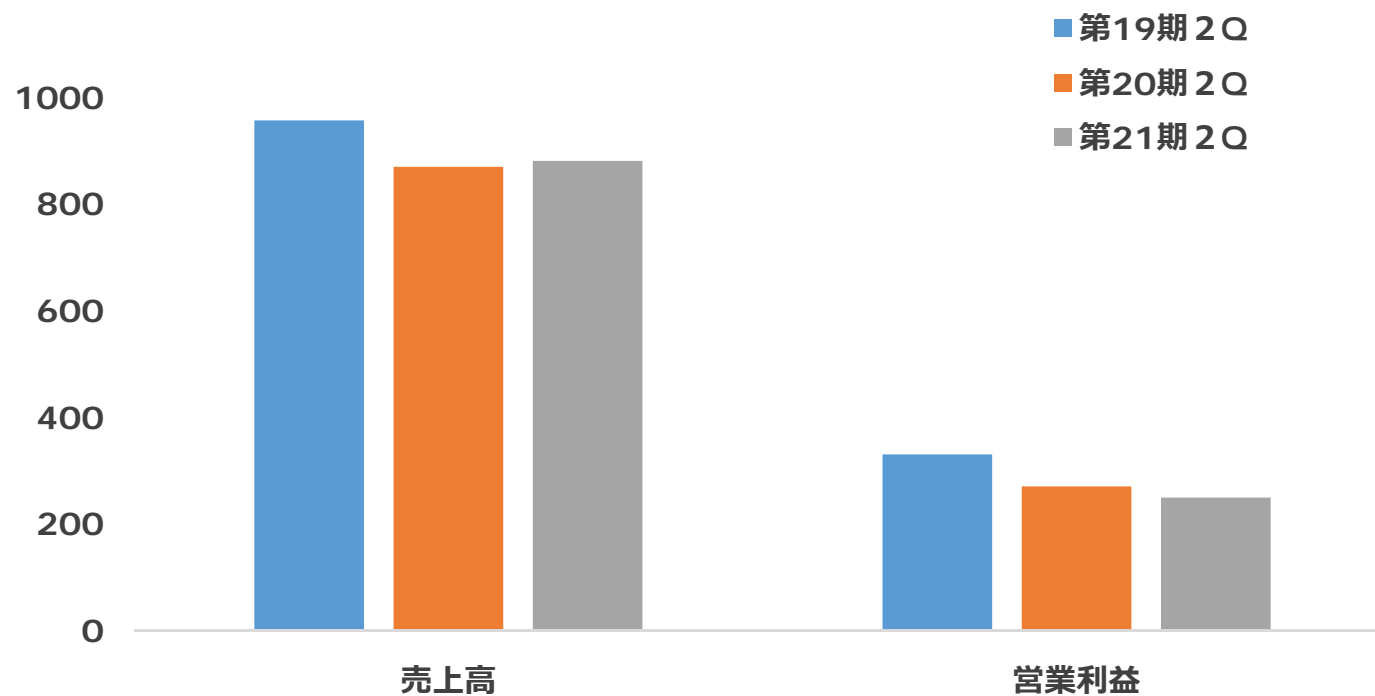


(百万円)

第21期 2Q	占い コンテンツ	ゲーム コンテンツ	メディア	その他	調整額	合計
売上	881	175	20	2	-	1,079
営業利益	250	9	▲18	▲41	▲183	16

# 占いコンテンツ

期中収益回復まで一歩及ばず  
利益の回復は下期に



# 占いコンテンツ

## 増収要因

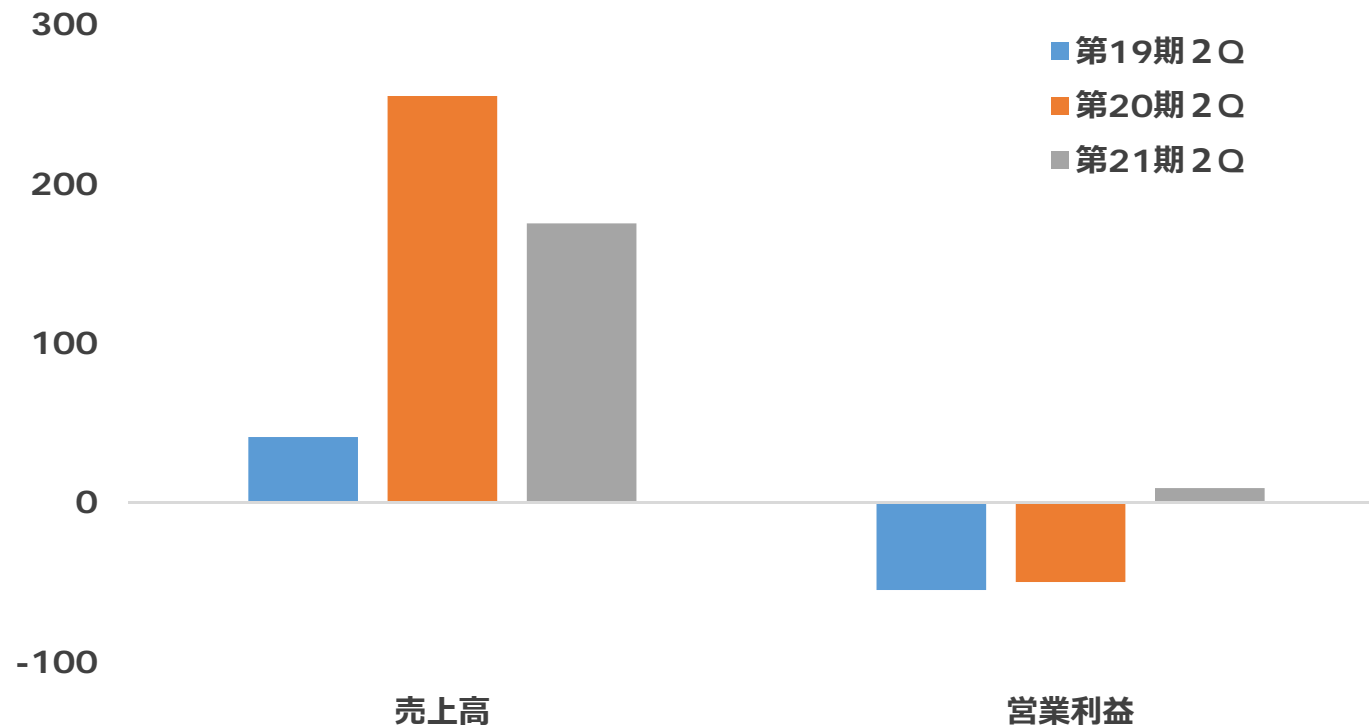
- ・ 電話やLINEを使用する**直接鑑定が好調**
- ・ アプリコンテンツも順調に推移

## 減益要因

- ・ キャリア向けモバイルコンテンツ会員数・従量課金コンテンツ売上の減少
  - ▶ コンテンツ市場全体のフリーミアムへの流れ
  - ▶ 第3四半期においては**下げ止まり傾向**
- ・ 広告宣伝費の増加に対して効果が現れなかった
  - ▶ 営業利益を押し下げる要因に
  - ▶ 3月頃から効果的なプロモーションへ再構築

# ゲームコンテンツ

## 安定型収益体制への移行 新規運営移管タイトルの獲得が課題



# ゲームコンテンツ

## 減収要因

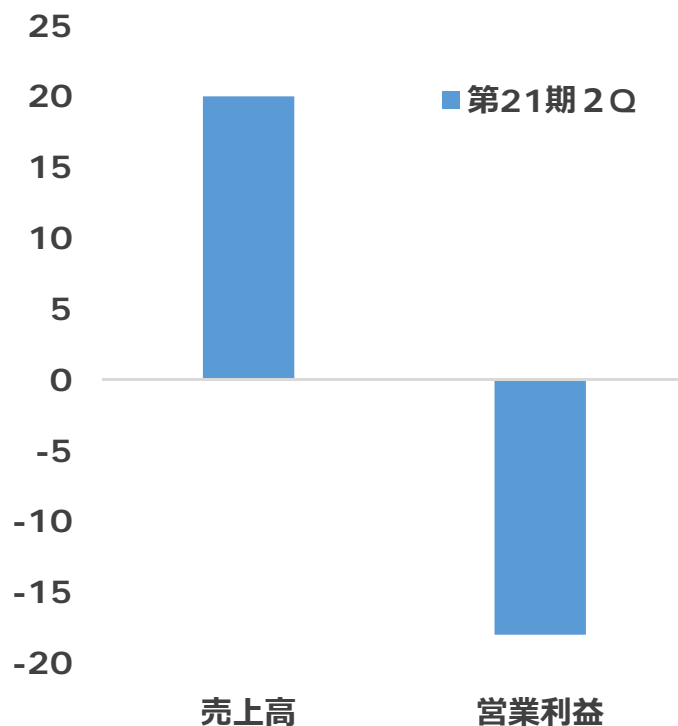
- ・ 第21期より、実態に即した利益率となるよう**手数料控除額**で売上高を計上
- ・ LWS新規の運営移管タイトルの未獲得

## 増益要因

- ・ 前期末の事業整理の結果安定的な収益体制へ
  - ▶ 売上は減少したものの最終は**黒字**で着地

# メディア

## 「カナウ」半年以内で黒字化も 初期投資の回収には及ばず



### 特記事項

- ・無料占いを搭載したキュレーションサイトとして現在は**広告収入**を軸に展開
- ・第2 四半期からは収益共に安定をみせて**黒字化**

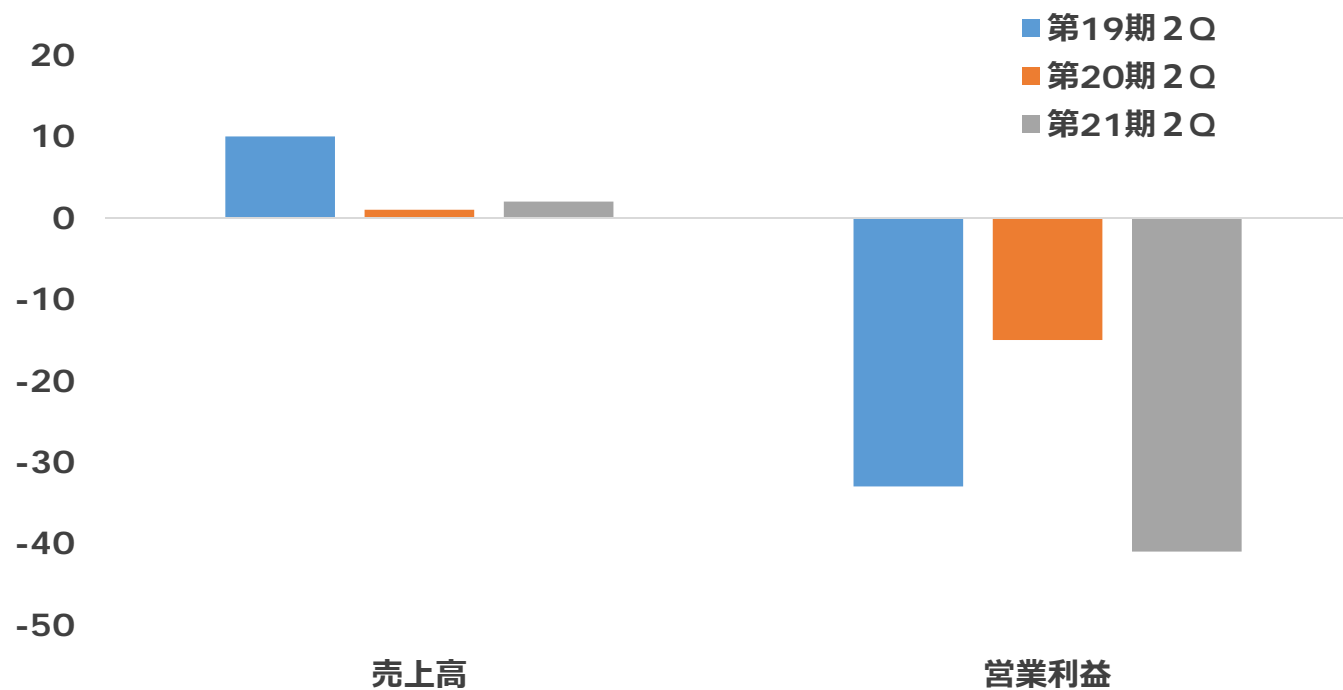
### 損失要因

- ・第2 四半期においては初期費用の回収には至らず
- ・その他新規案件への**先行投資継続**により損失を計上



# その他（新規事業）

## VR事業の推進 技術会社との事業提携を強化



# その他（新規）

## 特記事項

- ・ 事業形態の変化（受注制作・コンテンツ制作 → 製品販売）
- ・ 事業提携を強化（米国Kickstarterでも実績のある2社と業務提携）
- ・ 中国最先端技術を輸入してVR事業を推進・拡大
  - ▶ PIMAX社： VRヘッドマウントディスプレイ製品の国内販売総代理店
  - ▶ LYRobotix社： VRコントローラー端末の国内販売総代理権  
VRコンテンツプラットフォームの国内プラットフォーム運営権

## 減益要因

- ・ 上海子会社の設立初期費用や事業計画に伴う人員増等

# 下半期以降 事業展開

# 占いコンテンツ 国内 1 位を目指して

## 新規ユーザーの獲得

- ・ 適切な広告・プロモーションとコンテンツの海外展開
- ・ 無料鑑定・無料コンテンツ増加

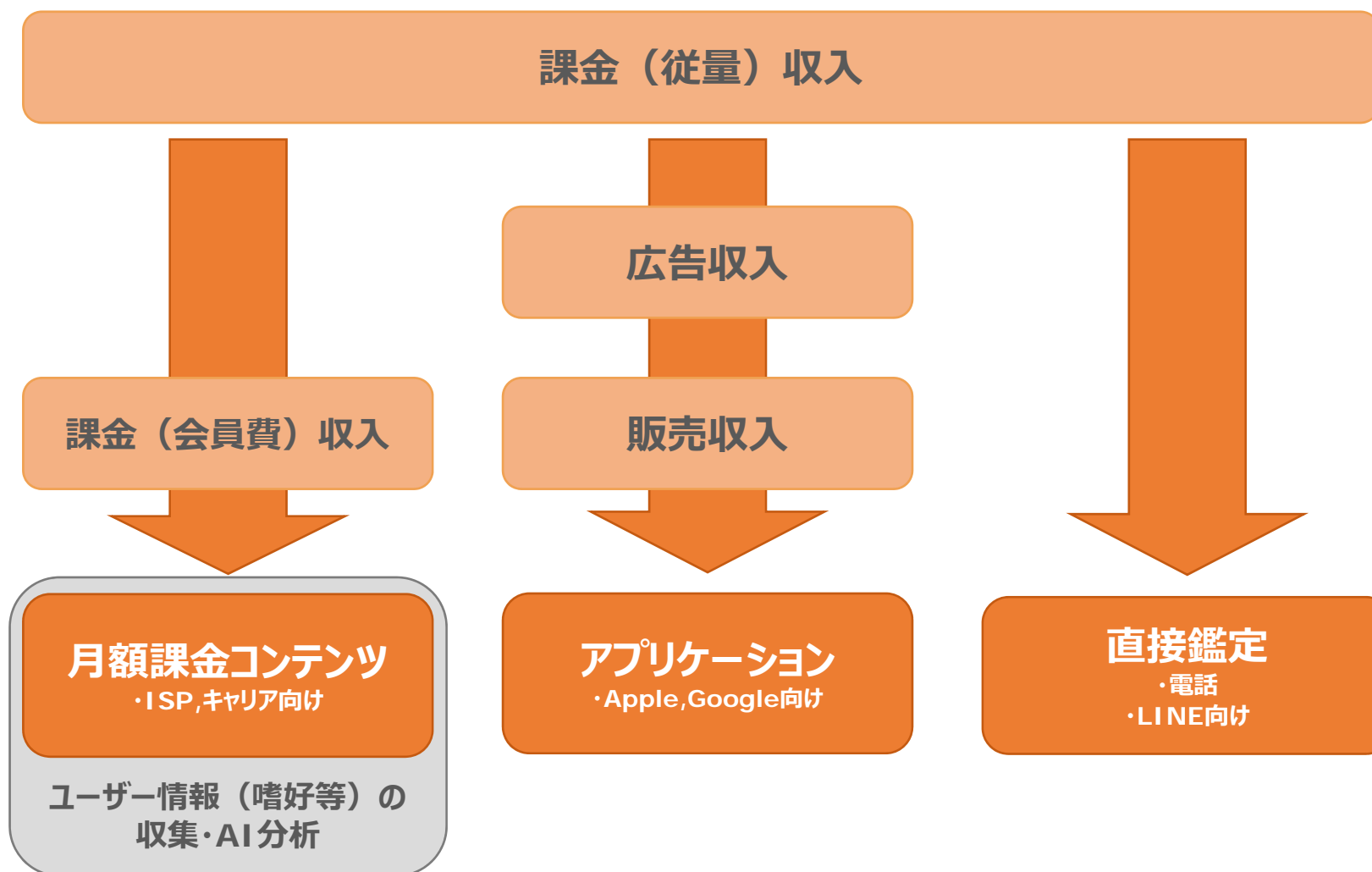


## リテンション施策による利用継続率の向上

- ・ AIを活用した占いデータの情報処理と分析
- ・ システム導入による管理体制の強化（直接鑑定）
  - ▶ ユーザビリティの向上



# 占いコンテンツ事業



ゲームコンテンツ事業

# 子会社による安定収益



## 新規運営移管タイトルの獲得

- ・ 営業の強化

## 1 タイトルあたり収益の増加

- ・ その他事業との連携 (VRコンテンツの導入)
- ・ 他社IPとのコラボレーションによる  
イベントカ・宣伝効果の強化



メディア事業

# 女性のライフスタイルを豊かに

## 収益形態の多様化による 利益率の拡大

- ・ 広告枠としての価値向上
- ・ 各ユーザー層向けのサイト作りとノウハウの共有



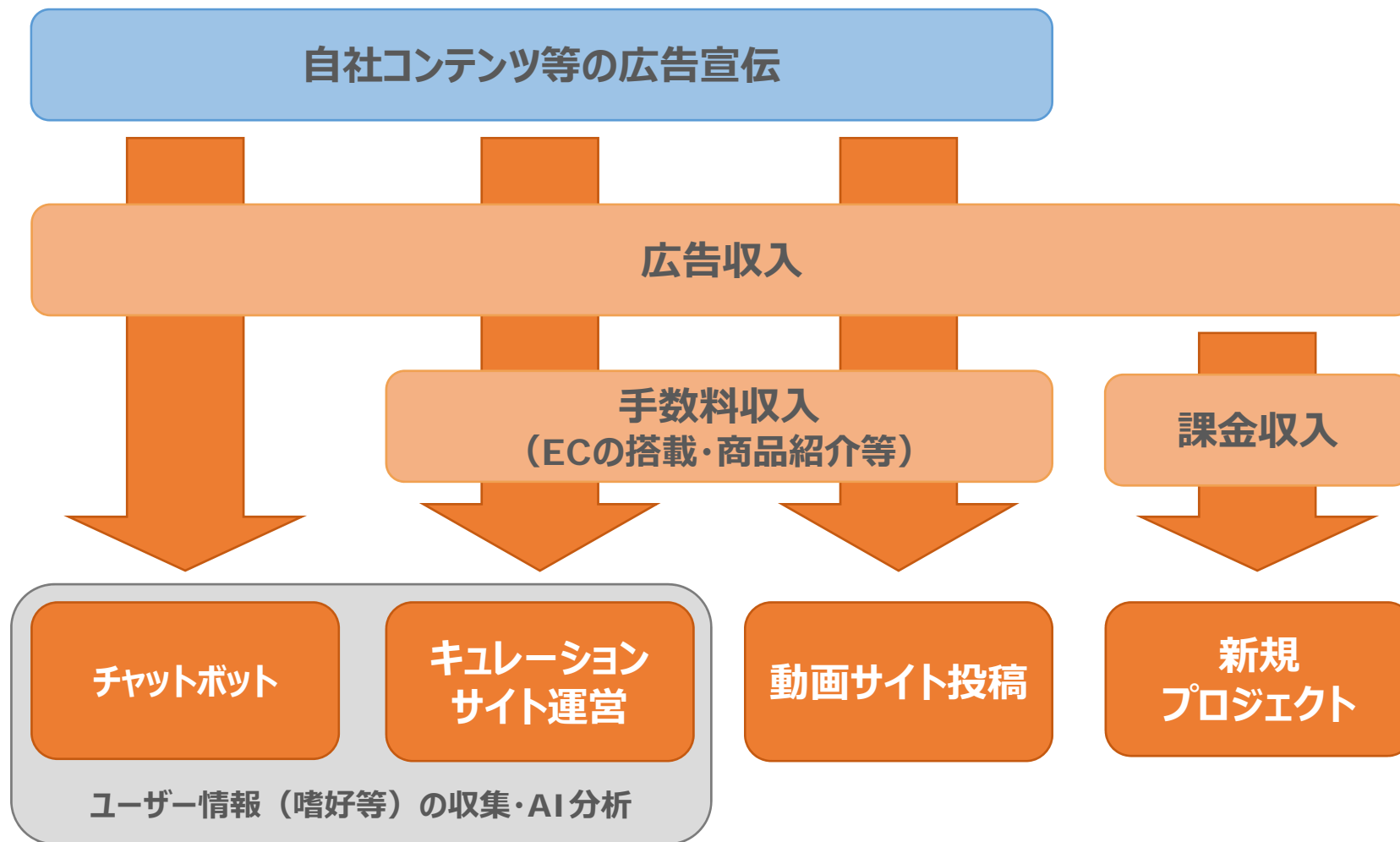
## 幅広いユーザー層の獲得

- ・ AIを活用した占いデータの情報処理と分析
  - ▶ 適切なコンテンツの提案
  - ▶ ユーザー目線でのサービス提供



チャットボットがAbemaTV「AbemaPrime」にて紹介

# メディア事業





世界の開発企業と協業

# 幅広いVR事業を展開

## カントリーリスクへの対応 (中国)

- ・ 現地子会社による管理・情報収集と共有



## 国内VRマーケットの後進

- ・ 国内外スタートアップ企業との事業提携
  - ▶ グローバルな事業展開 (韓国,中国,東南アジア)
  - ▶ 様々な事業に取り組み**マーケット拡大に先駆**



※ VR市場年間平均成長率 (2017~21年)  
世界62.4% : 日本25.7% (IDC Japan社調査)

# コンテンツプラットフォーム NOLO HOMEについて



VRコントローラー「NOLO」対応コンテンツを楽しむ

# 「NOLO HOME」(β版)

- ※ 1. 2018年4月現在のNOLOHOMEの主要言語は英語・中国となっております。
- 2. NOLO HOME正式版は2018年夏頃を目処にリリース予定です。

# その他（新規）事業



手数料収入

課金収入

自社コンテンツ等の  
プロモーション

販売収入

VR機器販売

・PIMAX社 HMD  
・LYRobotix社 コントローラー

VRコンテンツ  
配信

・LYRobotix社 プラットフォーム  
(2018年夏頃)

VRコンテンツ  
制作  
(2019年秋頃)

MRプロジェクト  
(2019年秋頃)

事業提携

# 中国上海子会社概要

名称	魅仕坊（上海）互聯网科技有限公司 (英文表記：Media Kobo (Shanghai) Internet Technology Co.,Ltd.)
所在地	中国（上海）自由貿易試験区富特西一路115号6層6-8室
設立	2017年9月15日
登録資本金	1,000万元（約170百万円）
従業員数	12名（平成30年2月末 時点） ※契約社員等を含む就業人数
株主構成	当社 100%
事業内容	デジタルコンテンツ企業及びVR企業との業務提携及び制作委託 他

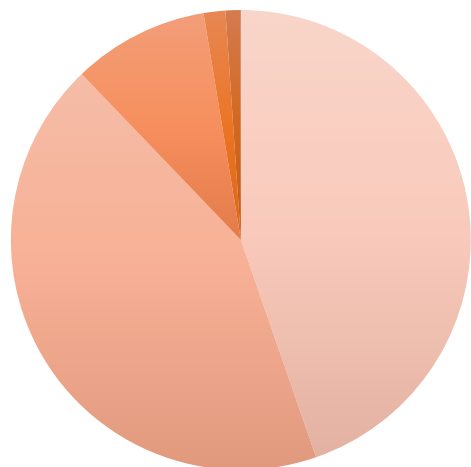
ご参考

# 会社概要

本社	東京都港区赤坂四丁目2番6号 住友不動産新赤坂ビル12階
設立	1997年10月
資本金	451百万円
従業員数	連結 135名（平成30年2月末 時点） ※契約社員等を含む就業人数
平均年齢	30.6歳（平成30年2月末 時点）
子会社	株式会社ブルークエスト 株式会社ルイスファクトリー 株式会社ギフトカムジャパン 魅仕坊（上海）互联网科技有限公司
上場市場	東証マザーズ（3815）
事業内容	コンテンツ制作・配信事業・各種メディア事業 他

# 株主構成（平成30年2月末日時点）

## 株主状況(所有比率)



- 個人その他 (44.69%)
- 自己株式 (9.57%)
- 外国法人等 (1.03%)
- その他国内法人 (43.14%)
- 証券会社 (1.53%)
- 金融機関 (0.04%)

総株主数	3,645人
1単元以上の株式を所有する株主数	3,585人

※平成29年8月期末の総株主数は3,645人

## 株式の状況

上場株式数	11,300,000株
自己株式数の合計	1,080,876株
役員所有株式数合計	2,075,000株
流通株式数	3,285,124株
流通株式数比率	29.07%

## 大株主の状況

株主名	所有持株数	所有株式数の割合
エヌカルテット	4,859,000株	43.00%
長沢 一男	1,919,100株	16.99%
長沢 敦子	188,000株	1.66%
桑原 崇	173,000株	1.53%
長沢 匡哲	85,000株	0.75%

※自己株式 1,080,876株 (9.57%) を除いた上位5名を記載しております。

# 資料に関する注意事項

- 本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。
- 本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、安全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた損害等については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変更等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来の見通しとは乖離が生じることがありますのでご了承ください。

【本資料及び当社に関するお問い合わせ先】

株式会社 メディア工房

管理部 経営企画チーム

TEL 03 - 5549 - 1804

FAX 03 - 3586 - 4480

<http://www.mkb.ne.jp>